

## 2015年度C&C賞表彰式開催

2015年12月21日ANAインターナショナルホテル東京にて、2015年度C&C賞表彰式典が執り行われました。仲冬の午後、約140名もの多くの方々にご出席いただきました（写真1）。

式次第に従い、矢野薫理事長による開会の挨拶があり、C&C賞は今回が31回目で、2015年度の文化勲章を受章された末松安晴博士を含め、過去61グループ100名にのぼる受賞者を輩出したことなどの活動が報告されました。

次に青山友紀審査委員長による選考経緯と受賞2グループの発表があり、グループAとして「大規模デジタル情報時代に向けた先進的なIT基盤技術に関わる研究開発への先駆的・主導的な貢献」に対し、東京大学生産技術研究所教授で国立情報学研究所所長の喜連川優教授、グループBとして「ネットワーク技術を進化させた先駆的研究とSoftware-Defined Networkingの開発推進における卓越した貢献」に対し、ヴィエムウェアシニアバイスプレジデントのマーティン・カサド博士、スタンフォード大学教授のニック・マッケオン教授、カリфорニア大学バークレイ校教授のスコット・シェンカー教授らの業績が紹介されました。受賞者の方々（シェンカー教授は都合により欠席）には、矢野理事長より表彰状とC&C賞の賞牌が贈られました（写真2）。

続いて、ご来賓の経済産業省商務情報政策局長の安藤久佳様からは、受賞者へのお祝いに加え、受賞対象となった業績は、時代の先端を走るとともに人

類の未来に関わる大きな貢献につながるものとして感謝を述べられ、経済産業省としてもIoT推進ラボの設立などを通じてICT社会の発展に協力し、貢献したいとのお言葉をいただきました。電子情報通信学会会長の小柴正則様からは、長年のデータ工学研究の成果をもとにビッグデータ社会の到来をいち早く予見し、それに備えて桁違いに高速な検索エンジンを発明された喜連川教授の先見性、今や数多くの通信系研究プロジェクトの基盤ともなっているSDNを牽引してきた3名の受賞者の普及努力を称えるとともに、受賞対象の2つはいずれも研究では極めて難しいと言われる0から1を生み出したものであり、その着眼点と一連の努力に敬意を表したいとのご祝辞を頂戴し、贈呈式は滞りなく終了しました。

受賞記念講演では、喜連川教授からは、特にハッシュに注目されたデータ工学に関わる長年の研究の挑戦や苦労、成果の紹介に始まり、巨大で多様な情報の生成がもたらす価値創出の可能性を世界に先駆けて見出し、それに呼応した数多くの研究開発を進めて来られた道筋や歴史などがユーモアを交えて紹介されました。また、マッケオン教授とカサド博士からは、まずSDNという、通信におけるパラダイムシフトを興すに至った研究開発の着想や技術障壁の紹介に始まり、ネットワークの仮想化という技術開発に挑戦し、それを成功に導いてきた数多くのコミュニティの活動、SDNというコンセプトに期待



写真1 C&C賞表彰式典

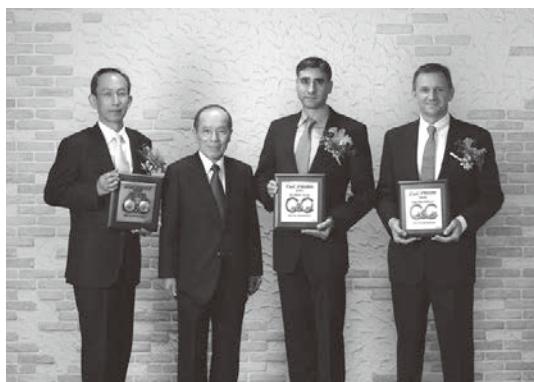


写真2 グループA受賞者の喜連川教授、矢野理事長、グループB受賞者のカサド博士、マッケオン教授（左から）

されるネットワークの将来像などが示されました。いずれの講演も、現代社会が直面する課題の解決に対して、その技術の持つ重要性とポテンシャルを表すものであり、まさに時機をとらえた講演となりました。

講演の後はカクテルパーティが開かれ、和やかな雰囲気のなか懇親を深める交歓の場となりました。ご来賓との晩餐会では、情報処理学会会長の富田達夫様の祝辞と乾杯に始まり、最後に受賞者のお客様代表によるお祝いの言葉と受賞者からの返礼を頂戴し、拍手のうちに閉会となりました。

今回受賞した2つのテーマは、いずれも今日の社会課題に対して斬新な解決への方法や方向性を示す基盤技術であり、情報通信の新たな研究分野を拓いたものとも言えます。そして、それら技術の実現を先頭に立って牽引し普及させてきた努力とともに、C&Cによる新たな形の社会貢献への挑戦を称えるのが、今年の表彰であったと言えます。

#### 関連URL

C&C賞受賞者の詳細な情報につきましては、以下のNEC C&C財団ホームページをご覧ください

[http://www.candc.or.jp/kensyo/2015/2015\\_prize\\_cc.html](http://www.candc.or.jp/kensyo/2015/2015_prize_cc.html)

#### ■■ 公益財団法人 NEC C&C 財団について ■■

NEC C&C財団は、C&C技術分野、すなわち情報処理技術、通信技術、電子デバイス技術及びこれらの融合する技術分野における開拓又は研究に対する奨励及び助成活動を通じて、世界のエレクトロニクス産業のいっそうの発展を図り、経済社会の進展と社会生活の向上に寄与することを目的としています。1985年3月に設立された財団法人であり、その基金はNECからの寄付金に依っています。

この目的を果たすための活動として、現在、顕彰事業及び研究助成事業を行っています。

顕彰事業としては、「C&C賞」に加え、本財団の

国際会議論文発表者助成を受けて海外で発表された論文のなかから、毎年おおむね3件以内の優秀論文に対して「C&C若手優秀論文賞」と賞金を授与しています。

研究助成事業としては、日本在住の大学院所属の学生で、海外で開催される国際会議で論文発表などをされる方々への会議参加費用の助成とともに、日本の大学院に滞在中の外国人研究員に対する研究費用助成を行っています。

# NEC技報のご案内

NEC技報の論文をご覧いただきありがとうございます。  
ご興味がありましたら、関連する他の論文もご一読ください。

NEC技報WEBサイトはこちら

NEC技報(日本語)

NEC Technical Journal(英語)

## Vol.68 No.3 新たな価値創造を支えるテレコムキャリアソリューション特集

新たな価値創造を支えるテレコムキャリアソリューション特集によせて  
変革期を迎えたテレコム産業に向けたNECのソリューション

### ◇ 特集論文

#### ネットワークに新たな価値を提供するSDN/NFVソリューション

SDN/NFVソリューション技術体系

ネットワークのインテリジェントな運用管理を実現するMANO技術

vEPCにおけるユーザー・プレーン制御の実現

付加価値の高いMVNOビジネスを支援するvMVNO-GW

通信事業者向け仮想化IMSソリューションへの取り組み

NFVで実現するIoTネットワーク

通信事業者向けトранSPORT SDNソリューション

通信事業者の収益向上を実現するトラフィック制御ソリューション(TMS)

トラフィック制御ソリューション(TMS)の要素技術

#### トラフィックの増大に対応するトランSPORTシステム

大規模データセンター向けOpenFlowイーサネットアブリック

増大するトラフィック対応に向けた10G-EAPONの開発

大容量基幹ネットワークを支える要素技術とマルチレイヤ統合トランSPORT装置

光デジタルコヒーレント通信技術の開発

光海底ケーブルシステムを支える大容量光伝送技術

#### 無線アクセスの高度化に対応するワイヤレスソリューション

ロシアでの通信事業者向けネットワーク最適化プロジェクト

サウジアラビアモバイル通信事業者向け大容量無線伝送システムを実現するIPASOLINKソリューション提案

世界最高の周波数利用効率を実現する超多値変調方式用位相雑音補償方式の開発

モバイル通信の高度化を支える高密度BDE

#### 通信事業者向けICTソリューション

NEC Cloud Systemの競争力強化とOSSモデル構築SI技術への取り組み

会話解析ソリューションの通信事業者への適用

止まらないキャリアシステム開発への取り組み

通信事業者の業務を下支えするビッグデータ分析基盤

### ◇ 普通論文

セキュアな重複排除型マルチクラウドストレージ「Fortress」

### ◇ NEC Information

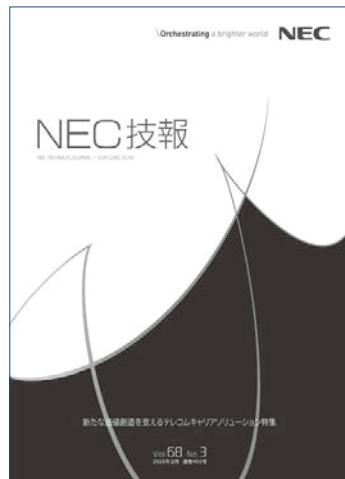
C&Cユーザーフォーラム&iEXPO2015 Orchestrating a brighter world

基調講演

展示会報告

### NEWS

2015年度C&C賞表彰式開催



Vol.68 No.3  
(2016年3月)

特集TOP